

令和4年知道会会員の集い 開催報告

令和4年11月12日(土)、水戸京成ホテルにおいて「知道会会員の集い」を開催しました。今年度は平成3年卒・平成13年卒・平成23年卒を幹事学年に、当日は天気にも恵まれ約300名の参加申込みのもと、賑やかな会となりました。

代議員会の終了後、海外派遣事業に代わって今年3月に実施された「グローバルリーダープログラム」について生徒代表6名による報告があり、続いて講演会は綿引健氏(H3卒)の司会進行のもと磯前昌宏氏の「生き残れるのか? 遠洋マグロ漁業」、高野友晴氏(H3卒)の「地元茨城・水戸に支えられて創る、古くて新しい納豆の世界」の講演2本が行われました。

懇親会は菊池克仁氏(H13卒)の司会により進行。稲葉会長(S38卒)、高村学校長(S56卒)の挨拶の後、長谷川淳三氏(S23卒)の発声により乾杯、懇談となりました。

懇親会ではミュージカル女優として活躍中の三森千愛氏(H13卒)によるミニコンサートがアトラクションとして行われ、講演会の際に登場した「ねば〜る君」も懇親会場に現れてコンサートを盛り上げ、アトラクション終了後も参加者と写真撮影するなどしました。

終盤では来年2月に開催予定の「東京知道会 同窓の集い」について幹事のH6卒メンバーから案内があり、幹事引継ぎでは今回の幹事学年(H3・H13・H23卒)から来年の幹事学年(H4・H14・H14卒)へ幹事の印である軍配が受け渡されました。

校歌は感染対策のため参加者一同が演奏に合わせて心の中で斉唱し、幹事学年のH23卒の重藤恵氏の挨拶をもって閉会となりました。

マスク着用などの感染対策をしながらではありますが、3年ぶりに対面で懇親会も含めた会員の集いを開催できたことは誠に喜ばしく、会場内は終始、久しぶりに会う同級生や先輩後輩の姿を見つけた参加者の明るい笑顔と声に包まれていました。

次回は令和5年11月18日(土)水戸京成ホテルにて行います。皆様のご参加をお待ちしております。



写真協力：広報委員会・菌部敬氏(H1卒)